

□議員名：大井淳一郎

1 事務事業評価について

論点	事務事業評価方法の改善及び次年度以降への反映を内容とする附帯決議を受けて、今後どう対応していくのか。
回答	これまでも様式の変更、4年間の数値や改善時期を記載するなど、よりシンプルでわかりやすい評価シートへと改善してきた。また、7月から8月にかけて各課のヒアリングを行う中で事業の点検等を行い、次年度以降の実施計画を作成している。

論点	事務事業評価にあたってコスト面をどのように評価しているのか。
回答	コスト面を全く無視するわけにはいかないが、それだけではなく政策としての重点的な取組も求められる。今後も費用対効果を考慮しつつも、的確で適正な事業評価をして次につなげていきたい。

論点	秩父市は、市民満足度調査の回答を図式化することで市民のニーズが一目で分かるようにしている。今後の参考にしたい。
回答	まずは、職員に「なぜその事業をしているのか」という自覚と責任を持たせるところから始めたい。当然、市民の満足度がどうなのかを把握することは極めて重要だと考えている。こうした視点も今後の参考にしたい。

2 転入定住促進事業について

論点	人口減少に歯止めをかけ、定住促進を図るための新たな事業実施を求める内容の附帯決議を受けて、今後どう対応していくのか。
回答	平成24年度から実施している転入奨励金制度は一定の成果を上げているが、人口減少の歯止めまでには至っていない。総合戦略にある事業を具体化する中で定住人口増加を図っていきたい。

論点	転入奨励金制度は転入促進の呼び水になっていない。例えば期間を5年から3年にして、その分、他の事業に充てるべきではないか。
回答	この制度は導入してから4年目で、ある程度の検証が必要である。まず現行でしばらく様子を見て、今後さまざまな取組が上がってき

	た段階で交付期間について検討する余地があると考えている。
--	------------------------------

論点	市外への流出を防ぐために、市内の親世帯を離れて同じ市内に住居を構えた場合も奨励金の対象とすべきではないか。
回答	転入奨励金制度はまず転入増を目指すことから始まった。財源も絡むので予算化は難しい。市内在住の方が住みよさを実感してもらうための施策を展開することによって人口流出を防いでいきたい。

3 乳幼児医療費助成制度拡充事業について

論点	乳幼児医療費助成制度を他市に劣らないものに充実させることを内容とする附帯決議を受けて、今後どう対応していくのか。
回答	子育て家庭の経済的な負担軽減及び定住促進、さらには本市の子供たちが適切な医療を受けて健やかに育てほしいという願いを込めて、現在前向きに検討している。これはまさに都市間競争に勝つか負けるかであり、拡充の方向で予算編成を考えている。

論点	資料のように対象年齢、所得制限の有無について県内でも多種多様である。本市は具体的にどのような検討がなされているのか。
回答	県内の情勢を踏まえながら一定の結論を得たい。宇部市が中学校卒業までと対象年齢が高く、このあたりを基準として考えている。参考までに所得制限有りで中学校卒業まで拡大した場合、2100万円程度の財源が必要となる

4 地域公共交通活性化事業について

論点	地域公共交通活性化事業の早期遂行と交通体系の確立を求める内容の附帯決議を受けて、今後どう対応していくのか。
回答	これまで計画に基づき、ねたろう号の延伸、デマンド交通の導入、市民病院へのバスの乗り入れなどを実施してきた。現在、持続可能な地域公共交通ネットワークの再構築を図るための新たな計画を策定している。

論点	新たな計画の策定にあたる地域公共交通会議の開催状況が3回目までしかホームページにアップされていない。現在の進捗状況は。
----	---

回答	ホームページへのアップが遅れている点はお詫びしたい。現在、6回ほど開催している。計画の素案ができた時点で早急に交通会議を開きたい。
----	---

論点	デマンド交通のエリアを現在の厚狭北部地域から広げていく考えはあるのか。
回答	デマンド交通は平成27年1月から始まったばかりである。厚狭北部地域の利用状況を勘案しながら、今後について検討していきたい。

論点	現行のデマンド交通をドアトゥドアの配車を情報技術がサポートする乗り合い型交通システムに発展させていく考えはあるのか。
回答	厚狭北部地域で運行したばかりであり、現在のところ新たな運行管理システムの計画はない。今後、他の地域で新たにデマンド交通を導入した場合には将来的な検討も必要だと考えている。

資料 県内各市の乳幼児医療費・子ども医療費の状況

市町名	平成 27 年度の状況	
	対象年齢	所得制限
山陽小野田市	小学校 3 年（1 割助成）	有り
下関市	就学前	3 歳未満まで無し
宇部市	中学校卒業（1 割助成）	有り
山口市	小学校卒業	就学前まで無し
萩市	小学校卒業	有り
防府市	小学校卒業	小学校卒業まで無し
下松市	小学校 3 年	3 歳の年度末まで無し
岩国市	小学校卒業	有り
光市	小学校 3 年 ※入院のみ高校卒業	有り
長門市	就学前	就学前まで無し
柳井市	就学前	有り
美祢市	就学前	3 歳未満まで無し
周南市	就学前	就学前まで無し